

1 疫病

A 発生生態

- 1 主として下葉の葉先付近に発生し、多湿時には病斑の裏面、とくに健全部との境界に霜状のカビを生じる。茎や、塊茎にも感染する。春作では、早い年は4月下旬頃から発生し始め、雨天が多いと蔓延が著しい。秋作では比較的少ないが、10～11月頃発生する。
- 2 17～20℃ぐらいの比較的低温で多湿の時に発生しやすい。
- 3 り病種いもや、ほ場に放置されたり病屑いもなどが伝染源になる。

B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 常発地では耐病性の強い品種を栽培する。
- 2 健全な種いもを用いるとともに、収穫後は被害残さの処分を行う。
- 3 感染防止のため、塊茎の収穫は、天気の良いときに掘取り、土を良く乾かしてから貯蔵庫へ収納する。

C 薬剤防除のポイント

発生を認めてからの薬剤散布は効果が十分でないので、発病期には予防散布に努める。

2 そうか病

A 発生生態

- 1 塊茎表面に褐色でかさぶた状の病斑を形成する。
- 2 土壌の pH が 5 以上のところで発生しやすく、石灰や堆肥を多く施用すると発病を助長する。塊茎肥大始期以降の感染時期に土壌水分が 60 % 程度になると、ほとんど発病しない。
- 3 土壌伝染と種いもにより伝染する。

B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 土壌を酸性に保ち、酸性肥料を用いることによって発生を軽減することができる。この場合土壌の pH が 5 を超えないことが望ましい。
- 2 塊茎肥大始期以降に散水を行い、土壌水分を高める。
- 3 検疫済の種いもを選び、発病ほ場では連作を避ける。
- 4 常発地では耐病性の強い品種を栽培する。

C 薬剤防除のポイント

クロルピクリン剤の土壌消毒も有効であるが、土壌消毒だけでは効果があがらない場合も多いので、併せて種いも消毒を行う。

3 黒あざ病

A 発生生態

- 1 塊茎の表面に黒褐色で不整形のあざ状の菌核を形成する。生育中の茎が侵されると頂葉が小型となり上方に巻く。
- 2 春と秋の2回発生するが、春作のトンネル栽培で被害が大きい。一般に多湿の酸性土壌において発病が多い。
- 3 種いもと土壌により伝染するが、種いもによる伝染が強い。

いもの病徵



塊茎上の菌核



B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 検疫済の種いもを選ぶ。
- 2 幼芽の被害を避けるためあまり深植えしない。
- 3 多発生は場では、土壌の酸性を矯正する。
- 4 排水を良くして過湿を避ける。

4 輪腐病

A 発生生態

- 1 初め小葉が黄化し、後に株全体が萎縮・萎ちようする。茎を切ると、維管束が褐変し、切断部から乳白色の粘性のあるな細菌液が出る。
- 2 病原細菌は、種いもにより伝染するが、り病種いもを切断した刃物でも伝染する。
- 3 掘り残しのり病いもは農機具による接触伝播につながる。

B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 健全な種いもを選ぶ。
- 2 種いもの切断に際しては、切断刀を交互に使い、その間熱湯に数秒間ほどつけ消毒しながら使う。
- 3 発病株は直ちに抜き取る。

5 青枯病

A 発生生態

- 1 茎が頂葉から萎れ、その後株全体に及ぶ。茎の地際部を切ると維管束が褐変し、汚白色の細菌液が漏出する。
- 2 多湿土壤での発生が多く、また、ネコブセンチュウの加害が本病を助長する。
- 3 病原細菌は、土壤中で長期間生存し、土壤伝染を主体とするが、り病種いもによる伝染もする。
本病原菌は、バレイショの他トマト、ナス、ピーマン、タバコ、イチゴなど多数の作物を侵すので、バレイショを初めて栽培するほ場でも注意が必要である。

B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 健全な種いもを選ぶ。
- 2 ほ場の排水を良くし、多湿を避ける。
- 3 秋作の場合、高温期を避け、できるだけ遅植えにする。
- 4 発病株は抜き取って処分する。

6 ウイルス病

A 発生生態

- 1 バレイショのウイルス病には数種あり、伝染方法も異なる。病原ウイルスと伝染方法は表のとおりである。
- 2 P V Y－えそ系統は、タバコ黄斑えそ病の病原ウイルスでもあるので、タバコの隣接地では注意する。

バレイショ主要病原ウイルスと伝染方法

病名	病原ウイルス	伝染方法			
		種いも	汁液	土壌	ア布拉ムシ
葉巻病	ジャガイモ葉巻ウイルス (P L R V)	○	×	×	○
Yモザイク病	ジャガイモYウイルス (P V Y)	○	○	×	○
Xモザイク病	ジャガイモXウイルス (P V X)	○	○	×	×
キャリコ病	アルファルファモザイクウイルス (AMV)	○	○	×	○
モザイク病	キュウリモザイクウイルス (CMV)	△	○	×	○

B 化学薬剤以外の防除方法

- 1 検疫済の種いもを用いる。
- 2 発病株は、早期に抜き取る。

C 薬剤防除のポイント

媒介虫の防除（ナス科虫害の項を参照）

P L R V、P V Y、AMV、CMV：アブラムシ類の防除を行う。